

## 「第5回富県宮城推進会議幹事会」 会議録要旨

日 時：平成20年2月22日（金） 午後1時30分から午後2時50分まで
場 所：宮城県行政庁舎4階 特別会議室
出席団体：資料名簿のとおり

### 1 開 会（司会：宮城県経済商工観光部富県宮城推進室 千葉総括）

#### 2 あいさつ（東北大学 渡邊副学長（幹事長））

- 「富県宮城の実現」に向けた協議の場としてスタートした富県宮城推進会議幹事会においては、各参画団体の取組の報告をはじめ、「みやぎ発展税」の活用施策への提案や、団体間の連携事業の実現に向けた検討など、これまで様々な検討や、意見交換をしてきた。
- その結果、あとで事務局から報告があるが、宮城県では平成20年度の予算案を13日に公表し、その中には当幹事会で提案している連携事業に関する取組も盛り込まれている。また今回は「みやぎ発展税」を活用した施策案についての説明も予定されている。
- 本日の幹事会は、平成19年度の最後の会議となる「第3回富県宮城推進会議の開催」を議題としている。今年度最後の幹事会として、内容の濃い議論をしていきたいので、活発な御意見の交換をお願いしたい。

#### あいさつ（宮城県 若生経済商工観光部長（副幹事長））

- 幹事会の開催は今回で5回目となるが、これまでお忙しい中、御出席いただき、「富県宮城の実現」に向けて、様々な御意見や御提言を頂戴している幹事の皆様に改めて感謝申し上げます。
- これまで幹事会等で御意見や御提言を頂いているが、本日の会議では県の平成20年度当初予算案を説明させていただく予定である。この中には、みやぎ発展税を活用した事業も盛り込んでいる。
- 今後、幹事会の議論で20年度に実施すべきという事業案が出てくれば、9月補正で予算化するなどにより柔軟に対応していきたい。
- 「みやぎ発展税」が法人事業税の超過課税であることから、一般財源と区分してその用途を明確化するために「富県宮城推進基金」を創設し、税収を一度基金に積み立て、そこから発展税活用事業のみを取り崩していくこととしているので、御理解願いたい。

### 3 議 事

#### (1) 「みやぎ発展税」を活用した取組に対する基本的な提案について

（富県宮城推進室 加藤室長が資料1、資料2に基づき説明）

#### 東北大学 渡邊副学長（幹事長）

- 「『みやぎ発展税』を活用した取組に対する基本的な提案」については、前回の幹事会での意見を踏まえて修正されており、また、これらの提案を踏まえた「みやぎ発展税」の活用事業について説明があったが、ただいまの事務局の説明について、御質問等はないか。

**(社)みやぎ工業会 白幡副会長 (副幹事長)**

- 今後、この資料を使用することを考えると、資料1の日付は、作成と改訂の2段階書きにしてはどうか。
- 資料2の「2. 中小企業技術高度化支援」の「主な事業」の中に「自動車関連産業OB人材活用事業費」とあるが、OB人材の活用は自動車関連産業に限ったことではなく、同じく重点育成分野である高度電子機械産業でも出てくるのではないか。
- 同じく資料2は、平成20年度当初予算案について記載されているが、複数年度にわたる事業については、事業の全体像が示されて、そのうち今年度はこのぐらいと示されないと分かりにくい。

**東北地方整備局 滝野港湾空港部長**

- 仙台塩釜港に関しては、東北地方整備局も参画し、「仙台塩釜港長期構想委員会」において港湾計画改訂の検討が進められている。
- この委員会では、セントラル自動車の進出を受けて、仙台港においては完成車の積出しが期待されるなか、利用者から「仙台港区の背後地が狭い」と指摘されている。これを受け、北側の中野埠頭や雷神埠頭等の背後ヤードの整備が検討されていると聞いているが、これらの整備に「みやぎ発展税」を使う方針はないのか。

**事務局 (土木総務課 久保田土木総務課 土木政策専門監)**

- 自動車積出しヤードの不足は認識している。北側の中野埠頭や雷神埠頭等の整備については、港湾計画改訂後になる。みやぎ発展税の活用については、導入期間の5年間に効果の出るものに限定して使用することにしており、御指摘の件は21年度の予算編成の際に改めて検討させて頂く。

**東北大学 渡邊副学長 (幹事長)**

- 物流インフラについて前回に発言いただいたが、意見は反映されているか。

**東北学院大学 柳井教養学部地域構想学科教授**

- 前回お話しした内容が盛り込まれているので、後は実現していただければと思う。

**東北大学 渡邊副学長 (幹事長)**

- セントラル自動車の進出は、極めて大きい影響があるので、これへのしっかりとした対応と同時に、自動車産業以外の業種の活性化も念頭において、セントラル自動車へ対応することが重要だと考える。
- 今回説明のあった予算案は、2月議会での審議を経て実施される。取組の実効性が上がるように御協力をお願いする。

**(2) 団体間で協働化できる取組について**

**【観光分野】**(観光課 田畑技術副参事が資料3に基づき説明)

**東北大学 渡邊副学長 (幹事長)**

- 「米」「味噌」「純米酒」を基本として、宿泊客向けにキャンペーンをしていくという提案だが、ただいまの事務局の説明について、御質問等はないか。

**(社)みやぎ工業会 白幡副会長 (副幹事長)**

- 「工業会」ということではなく感想になるが、「”もの”で感謝して、”こと”で感動する」と良く言われる。リピーターになってもらうためには、可能であれば観光客を「美味しいだけ」でなく、「参加」の”こと”で感動させることが大事ではないか。
- 小牛田（現美里町）は、国産大豆の一大産地であると聞く。「大豆」のほうの商品がたくさんあり、「味噌」ではなく「大豆」でも良いのではないか。

**事務局（観光課 田畑技術副参事）**

- 「感動できる”こと”」「大豆」については、実行委員会のなかで検討していきたい。

**宮城県観光誘致協議会 三浦事務局長**

- DCをきっかけとして、観光分野においては各業界の連携が進んでいる。松島町では、旅館と蔵元、農漁業者の団体が一体となって新しい日本酒を造った。元々は旅ホ達の営業企画委員会で軽い気持ちで提案されたものだが、正に産業間連携のお手本となるもの。各地で同様の連携が行われれば、観光分野の一つの方程式になるものと確信している。
- 米・味噌・純米酒については、「仙台味噌」が既にブランド化している。県の「純米酒」は84%を算出するなど全国でトップ。「米」も農薬を使わない米など、特徴のある米がある。今回はそれぞれが「逸品」ということで、企画されたもの。協会としても全面的に協力していきたい。

**仙台経済同友会 小形事務局長**

- 経済同友会では、南東北の仙台・山形・福島で観光関係の会議を開催しているが、この中で情報発信の大切さが言われている。資料3でキャンペーン広報が記載されているが、ここには是非お金をかけていただきたい。
- 観光客については、インターネットで情報を仕入れてから現地に入ってくる人が多い。現地の情報については、ガイドブックでも追いつけないくらい、新しい情報がインターネットで提供されている。インターネットを使って新しい情報を流し続けて欲しい。
- これらの素晴らしい素材については、県民が説明できるように情報を共有することが大切。県民にも宿泊をしてほしいと思う。

**東北大学 渡邊副学長 (幹事長)**

- テーマが団塊の世代を対象としているように見える。ネットを利用する若い世代には魅力がないのではないか。年代別に多面的な対応を考えてみてはどうか。

**【人材育成分野】（新産業振興課 正木課長が資料4に基づき説明）**

**東北大学 渡邊副学長 (幹事長)**

- 前回に比べて、遙かに具体的な提案となっている。何か御質問等はないか。

**(社)みやぎ工業会 白幡副会長 (副幹事長)**

- みやぎ工業会からの提案がもとになっているが、議論の過程で、中小企業団体中央会や商工会議所連合会と意見交換を行っており、実施の際も協力して行っていきたいと考えている。想定協働団体として記載してほしい。

**(社)宮城県情報サービス産業協会 菅野事業共創委員会委員長**

- ソフトウェア業界も、高度電子機械産業や半導体製造装置、自動車関連産業には必須の業界であり、ぜひ加えてほしい。

**東北大学 渡邊副学長（幹事長）**

- 想定協働団体について、どこを加えるか事務局から回答をお願いします。

**事務局（新産業振興課 正木課長）**

- 富県宮城推進会議の参画団体を念頭において、今後、事業計画を詰めて参りたい。

**東北大学 渡邊副学長（幹事長）**

- (5)事業概要の「1年間同一メンバーで実施」のところだが、人を育てるには「同一メンバー」ということが重要である。良く考えられた方法を選択されたと思う。その他の意見が無いようなので、この方向で事業を進めることにしたい。各団体の協力をお願いします。

**(3) その他**

**【平成20年度宮城県当初予算案の概要】**

**【平成20年度「みやぎ発展税（通称）」の活用施策の概要（案）】**

**【平成19年度「富県宮城の実現」に向けた県の取組状況】**

（富県宮城推進室 加藤室長が参考資料1，同2，同3に基づき説明）

**東北大学 渡邊副学長（幹事長）**

- ただいまの事務局の説明について、御質問等はないか。

**(社)みやぎ工業会 白幡副会長（副幹事長）**

- 発展税は5年間で150億円と説明されたが、なぜ平成20年度は30億円ではなく43億円なのか。

**事務局（富県宮城推進室 加藤室長）**

- 平成20年度確定申告分と21年度の予定申告分の合計で43億円となる。ただし、最終年度には予定申告分がないので、平準化すると30億円の5年間となる。

**東北大学 渡邊副学長（幹事長）**

- 厳しい財政状況のなかで、富県宮城の実現に向けてまとめられていると思う。よろしく願います。

**【今後のスケジュール】**

**事務局（富県宮城推進室 加藤室長）**

- 第3回富県宮城推進会議は、3月24日午後1時を予定。本日の議論を踏まえて修正した資料を提出する。開催案内を来週に発送するので、出席について配慮願う。
- 次回の幹事会は、5月を予定。具体には幹事長と相談の上で決めたい。

**4 閉 会**